

平成28年12月1日

PTA 会員の皆様へ

船橋希望学舎
世田谷区立船橋希望中学校PTA
会長 根本 寛子
研修委員長 村越真由美

第3回 家庭教育学級のご報告

11月10日(木)多目的ルームにて、第3回 家庭教育学級が行われました。

「しなやかな心と子どもたちの未来をはぐくむ」というテーマで講師の本校統括校長加藤敏久先生に、船橋希望中学校の今・教育現場・今後、子どもたちの未来についてのお話をいただきました。たくさんのスライドや画像とともに約1時間半、皆様の関心の高い内容で、楽しく発見のある時間を過ごすことができました。(出席者 58名)

ここでその講演内容を少しご紹介いたします。

●もし学校がなかったら・・・

今学校では、友情と競争は両立するのか？など、考え、議論する道徳教育を大事にしています。道徳の授業後にそこで終わるのではなく、廊下でつづきを議論していた子どもたちの姿が見られました。公立中の良さはいろいろな友だちとの交流、男女共学、町や地域の中でのよりよい環境で生活ができること。

その中で学力も精神力も友情も鍛えられます。

●インターネットの普及、子どもたちのかかわりの問題・・・

インターネット・パソコンが使えないと大学受験ができない。そういった事が遠くない将来にやってきます。危険だからといって取り上げることができなくなります。ではどうしたらいいのでしょうか？将来を見越し、道徳では身近な課題例や、本当の思いやりなど考えていく。一方で、課題解決型授業＝アクティブラーニングを取り入れ学習方法の改革をすすめています。

●未来予測・・・

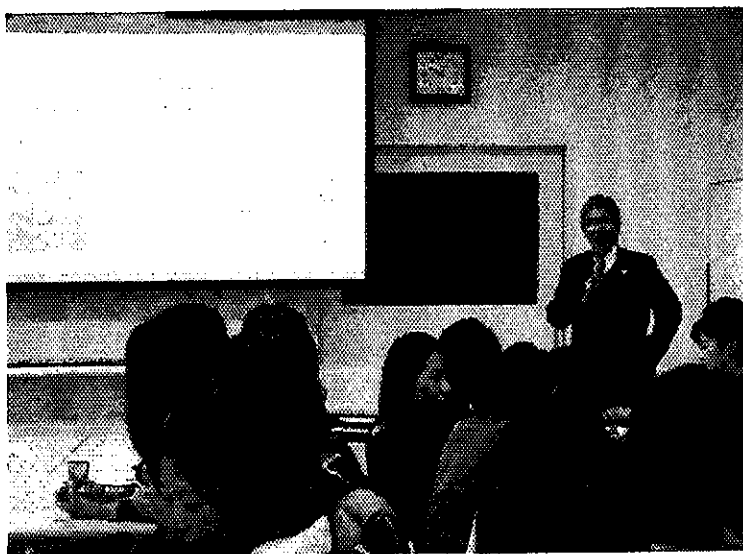
これからの子どもたちは、その65%が今存在していない職業に就くと言われ、働き方が大きく変わるでしょう。AI(人工知能)も飛躍的に発展します。グローバル化・国際教養・国際情報に対応する力が求められますが、それだけでいいのか？ということもぜひ考えておきたい。子どもたちが身につけておくべきことは知識・技能、思考力・判断力・表現力、しかし、何より大切なものは人間愛です。

様々な資料や写真とともに、とても楽しくお話くださり
最後に「しなやかな心。竹のように 柔軟に・まっすぐに・節目を大切に」
というメッセージをいただきました。

ご自身の体験やご家族のお話もまじえながら、温かみのあるわかりやすい講演でした。

～参加者の感想より～

- ・加藤校長先生のお人柄・教育方針がよく分かり、中学校に対する期待感・安心感が増しました。
- ・将来を見据えた取り組みによって、多角的に効果が上がるよう教育が行われていることが実感できました。
- ・船橋希望中学校の良さがわかりました。
- ・これからの時代の変化に、どのように対応し子育てをしていくかを具体的なデータを元に話していただき、とても勉強になりました。
- ・今後の大学入試の内容等、とても為になりました。
- ・公立中学校の存在意義、道徳授業の大切さを感じ、学習面だけでなく集団で生活する環境のありがたさを改めて感じました。



意義のある、多くのご意見をいただきました。

今後に生かしたいと思っています。

参加して下さった皆様、ご協力ありがとうございました。